



技術史のおもしろさ再発見

2023年2月19日(日) 午後1時～午後4時50分

主催：  中部産業遺産研究会 協力：  トヨタ産業技術記念館

会場 トヨタ産業技術記念館 ホールA

〒451-0051 名古屋市西区則武新町4丁目1番35号

公共交通機関をご利用の場合

- ・名鉄：名古屋本線「栄生駅」下車、徒歩3分
- ・なごや観光ルートバス“メーグル”：名古屋駅バスターミナル11番のりば「なごや観光ルートバス“メーグル”」乗車「トヨタ産業技術記念館」(敷地内)下車すぐ
- ・タクシー：「名古屋駅」から5分

お車をご利用の場合

- ・名古屋高速6号清須線「明道町出口」から5分程度。
 - ・名古屋高速都心環状線「丸の内出口」から10分程度。
- 無料駐車場(乗用車220台、バス10台)



後援：愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会・産業遺産学会・日本産業技術史学会・一般社団法人 日本機械学会・一般社団法人 中部産業連盟
公益財団法人 中部圏社会経済研究所・一般社団法人 中部経済連合会・公益社団法人 日本技術士会中部本部・名古屋工業大学ごきそ技術士会

写真：小牧で最終組立が行われたYS-11量産初号機(JA8610)、茨城県筑西市の「科博廣澤航空博物館」にて保存・展示中。



中部産業遺産研究会主催の本シンポジウムも今回で40回を迎えることになりました。1982年の第1回開催以来、ほぼ1年に1回開催しており、ちょうど40年目になります。これだけ長く続けて来られたのも、ひとえに関心を持って頂いた参加者の皆様のおかげと思っております。そこで今回は、開催当初の原点に戻って、「日本の技術史をみる眼」とはどのような意味を持っているのか、また「技術史」そのものを、どのような見方から捉えるのか、どう活かすべきか等々、具体例や実践例を交えながら、様々な角度から座談会形式を取り入れて語り合い、改めて技術史のおもしろさを追求してみたいと考えています。いわば「技術史のおもしろさ再発見」です。当研究会員がそれぞれの関心で見つけたその面白さも改めて確認し、私たちの生活を支えてきた技術の移り変わりを追いながら、また新しい面白さを見つけませんか？



奥村正二著『技術史をみる眼』(1977年)

本シンポジウム「日本の技術史をみる眼」は、奥村正二氏の著作『技術史をみる眼』に触発され1982年に始まった。

プログラム

12:00 受付開始

13:00 開会

13:10～ **基調講演「博物館での技術史研究のおもしろさ」**

講師 鈴木一義

(国立科学博物館 名誉研究員 元産業技術史資料情報センター長)

14:45～ **座談会・会場からの意見交換**

コーディネーター 橋本英樹(会員)

パネリスト 鈴木一義 大洞和彦(トヨタ産業技術記念館館長)

赤崎真紀子(会員) 朝井佐智子(会員)

野村千春(会員) 八田健一郎(会員)

16:50 閉会

参加費 (講演報告資料集の代金を含む)

- ・一般 1,500円
- ・中部産業遺産研究会員・後援団体関係者 1,000円
- ・学生で資料を必要としない場合は無料
(資料が必要な場合 500円) ※学生証要提示

*シンポジウムの参加費は、お申し込み後、お振り込みをお願いします。(当日受付でも支払い可能)

振込先

【郵便振替】口座番号：00880-2-83831
シンポジウム「日本の技術史をみる眼」
*個人での振込は申込者の名前をお願いします。

定員

シンポジウム：80名(予定)

*先着順。定員になり次第締め切らせていただきます。

*新型コロナウイルス感染防止の観点から定員を減らす場合があります。

お問い合わせ

- ・中部産業遺産研究会 WEBサイト
<http://csih.sakura.ne.jp/>
- ・「日本の技術史をみる眼」開催案内
<http://csih.sakura.ne.jp/nitigi.html>
- ・シンポジウム実行委員会事務局(八田 健一郎)
E-mail kenhatta@hm4.aitai.ne.jp

お申し込み

中部産業遺産研究会 WEB サイトの申し込みフォーム
<http://csih.sakura.ne.jp/nitigi.html> よりお申し込みください。

*申し込みは、郵送でも受け付けています。

郵送でのお申し込み先

〒470-0213 愛知県みよし市打越町九蔵釜 93

加藤 真司 宛

*申し込みハガキには、下記内容を記載(*は必須)してください。

- ①氏名*
- ②区分 一般・中部産業遺産研究会会員・後援団体関係者・学生*
- ③所属(学生の場合は学校名)
- ④メールアドレスまたは電話番号*
・なお「CPD 行事参加票」の必要な方はその旨をご記載ください。

*参加券は発行しません。定員超過などによるお断りがなければ、当日受付までお越しく下さい。

*申込書に記載の個人情報、当シンポジウムの運営及び緊急の連絡のみに使用します。

*勤務先等で複数お申し込みの場合は、全員の参加者名をご記入ください。

*「CPD 行事参加票」はCPD制度を実施している学協会に所属の方で、必要とされる方に配布するものです。